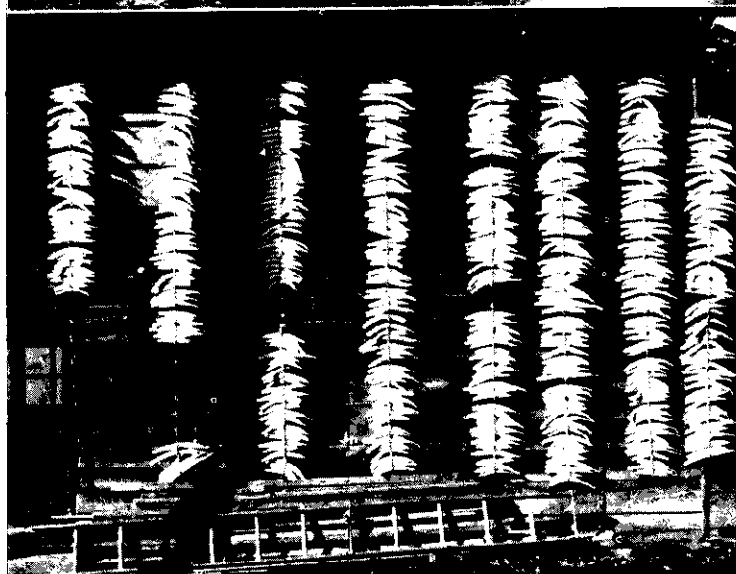
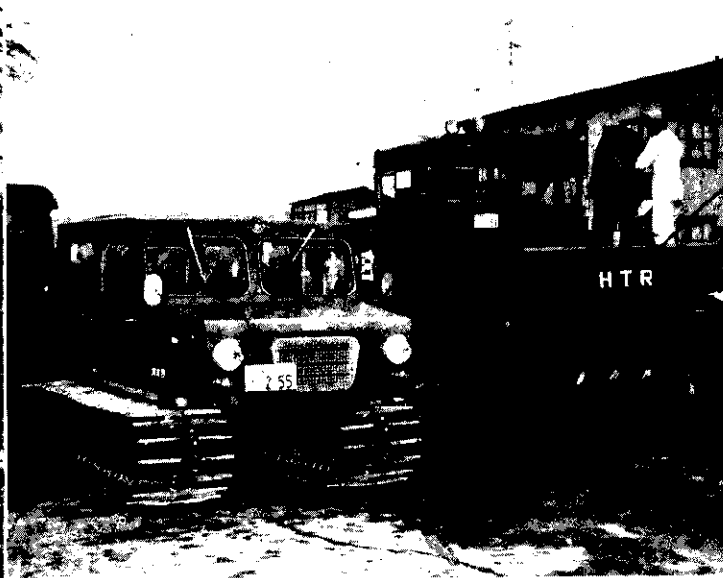


市報

とおがまち12 / 10 December

編集発行／十日町市役所（電話7-3111）毎月10日／昭和32年6月5日第3種郵便物認可（1部6円）

□290号□



木枯しの吹く季節を前に

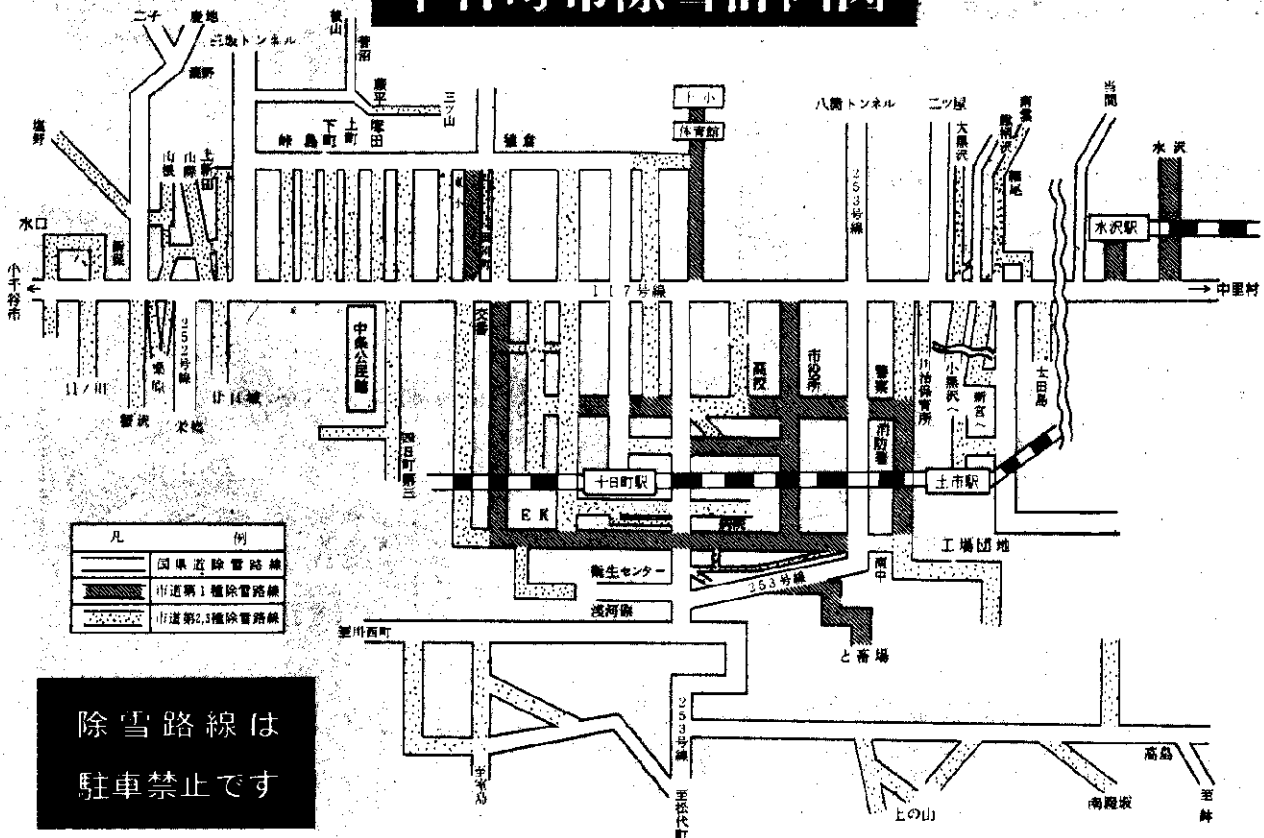
庭の木、公園の樹木、お地蔵
さんも冬眠に入る準備。

大根も干しあがり、除雪車も
出動準備OK。

子供達は寒さの中でも元気だ。

雪 特集号
＜1P～12P＞

十日町市除雪計画図



除雪路線は
駐車禁止です

除雪路線大幅延長

交通確保を最重点に

いよいよ本格的な雪のシーズンがやってきます。十二月から二月までの北陸地方の三カ月予報によると、気温は平年並みかやや寒い程度、雪はやや多めで一月を中心に大雪の恐れがあるとなっています。

大雪になると市民生活にいろいろな障害が起きます。豪雪時にも雪のない時と同じ生活環境を維持するにはなんといっても道路の確保が第一です。十日町土木事務所、市など関係機関は一体となって主要道路の確保に精力的につとめますが、円滑な除雪作業を行うためにはどうしても市民の一人一人のご協力が必要です。とりわけ除雪作業の障害になる路上駐車と除雪直後の屋根の雪おろしにはお互いに十分気をつけたいものです。

雪の季節を迎え、今月号は雪の諸問題特集で考えてみました。

市道の除雪

市道の除雪は、第一種、三種除雪路線と委託除雪路線、圧雪路線に区分して行います。常時一車線以上確保を目標としている第一種、二種路線は四十七・三キロで、昨年より十三・五キロも大幅に延長されています。新規除雪路線に組み入れられたのは、下貫線(塩野)、美濃線(三ツ山)、新馬坂線(南雲原)など九路線です。

除雪隊は、昼夜交替で三十六名編成、除雪ドーザー十台、グレー

国県道の除雪

国県道の除雪は、十日町市内で、一般国道四十七・五、主要地方道十一・二、一般県道

雪害対策室を設置

を

市では、道路交通の確保、なだれ事故の防止など雪による被害の防止や軽減をはかるため市役所内に雪害対策室を設置しています。雪害対策室は、総勢二十一名で組織し、雪害発生の際のすべての事項を処理します。お気づきの点は気軽に雪害対策室へご連絡ください。

一昨年から国道一一七号線の四日町地内と水堀、富栗間で試験的に実施されていた歩道除雪は、新たに中条旭町地内と、二百五十三号線山本地内で実施され、延、三・九キロになります。

四十六・七キロの合計百五・四キロが計画され、昨年より六・九キロ延長されています。新規路線は、山ノ相川下条(T)線の二子ノ瀬野間、岩沢中条線の慶地ノ瀬野間、中条五日町(T)線の宇田ヶ沢ノ小貫間、室島十日町線の小泉ノ山谷間、新宮二ツ屋線の池沢ノ二ツ屋間の五路線です。

雪害対策室
☎7-3111番
内線 268

路上駐車は除雪の敵

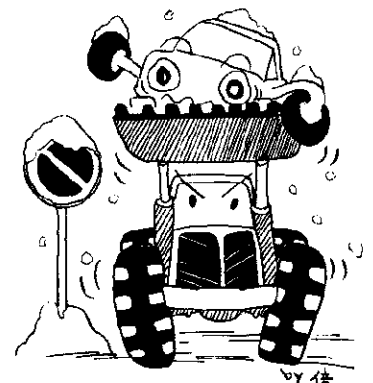
今冬から警告書を送付

今冬も道路確保のため、昼夜をわがたず懸命な除雪作業が続けられます。除雪作業の最大の障害は違法駐車です。円滑で能率的な除雪作業を進めるために路上駐車、の絶滅にご協力ください。もし、除雪作業時に違法駐車している車を傷つけた場合、その修理代や車を排除させるために要した費用は駐車者の負担になります。また、今冬から、市、土木事務所、警察署では、一層パトロールを強化し、特に悪質な場合、レッカー車で排除し、違法駐車が多い町内の除雪を見合わせることもあります。

冬期間の交通確保は、市民の共通の願いです。除雪路線も年々延長されて、道路確保のため二十四時間体制がしられ、必死の努力が払われています。その交通確保の最大の難点が、後をたない違法駐車と、無秩序な屋根雪の道路への投棄です。みんなの迷惑になる違法駐車には、市、土木事務所、警察署でも、今年、例年にない強い態度で対処することになっています。違法駐車を持ち主に「駐車違反警告書」を送付して注意を促し、改善されない場合は処罰することもあります。また、違法駐車が多い町内は、除雪を見合わせることも考えています。一人の人の不注意から多くの人が迷惑することのないように、お互いに十分注意をしたいと思います。



違法駐車が多い町内は除雪をしないこともあります。



レッカー車で排除も!

委託除雪補助制度のご利用を

市では、町内会などが、除雪機械の費用を支払って道路の除雪をした場合、その費用の一部を補助する委託除雪費補助制度を設けています。この補助制度は、市の定めた借上げ料(町内会などの借上げ料が市の定めた額より少ないときはその額)を基準とし、補助率は、ブルドーザー、タイヤショベルなどの除雪機械の借上げ料の六十割です。ちなみに、昨年

ながら注意したいものです。

やむを得ず路上に雪をおろす場合は、町内ごとに、いっせいにそろそろ日を決めて、土木事務所や市役所雪害対策室と連絡をとって実施してください。

路上駐車や無秩序な雪処理をしていたのを見つけたら、積極的に、市雪害対策室、土木事務所、警察署にご連絡ください。この厳しい冬を乗り切るためにお互いに協力しましょう。

度は、この制度を利用して約三百件、三千二百万円の補助金が交付されています。

除雪作業には、多くの危険が伴いますので十分ご注意ください。とりわけ、通学路では、生徒の登下校時の作業は極力避けていただくようお願いいたします。

申込み 除雪作業をする前に随時建設課維持管理係(番七―三二―一 番内線二五―一)へ。

一方通行を多くしたら



タクシー運転手 江村 嘉三さん

雪が降るとこれから毎日戦争です。ハンドルを握って一番困るのは、何と言っても路

屋根雪処理を



バス運転手 高橋 由一さん

冬期間は道が狭くなりますから、特に交通事故には気をつけています。ことに水沢の黒沢と

こう蓋をキッチンと締めて



市除雪隊 佐藤 春雄さん

朝の出動前に道路をあげなければならぬので、我々は朝三時に出勤します。一番困るのは路上駐車。せっかくそこまで行

上駐車です。雪で狭くなった道を一層狭くしてしまいます。

町の中を走っていると、除雪が終わると待っていましたとばかりに道路に雪を出している人を見かけますが、本当に腹が立ちます。人の事なんか考えないんです。雪が多くなったら、市街地の小路は一方通行にして、対向車の交差をなくすようにしたら、それでもスムーズに流れるのではないのですか。

土市のあたりが狭くなります。今後の問題として、歩道除雪を考えてもらうことと、通学路は裏道を除雪してそっちを通してもらいたいですね。市街地では、屋根の雪おろしをして道路に積みあげますが、できるだけ早く処理して欲しいものです。後片付けの悪い家は決まっています、毎年同じ所です。冬になるとその家の性格がでてきます。お互いに気をつけたいですね。

っても車がじゃまになって進めないことがあるし、除雪できても道幅が狭くなります。それと困るのは流雪溝のこう蓋をはずしたままにしたのや、歩道と車道の境に鉄板や角材を放置したもの。これをロータリーが巻き込むと故障してその後の除雪計画がくるってしまいます。それから前の日から出ているゴミ、次の朝は、雪が降って見えないんです。

屋根雪処理にも 市民の知恵が

「冬期間も雪のない所と格差のない生活をしたい」というのは雪国の住民の共通の願いです。

そのためには、冬期間の交通の確保と屋根雪の合理的な処理が大きな課題です。冬期間の交通確保は、年々道路の無雪化が進み、着々と実現していますが屋根雪処理には、これといった決め手がまだありません。しかし、この雪国の宿命だとあきらめられていた屋根雪処理にも市民の知恵と工夫がこらされるようになってきました。

市内の建築物の約七割にあたる八百五十棟に何らかの工夫がされていますが、その具体的な方法や効用をみてみましょう。

市では、五十一年度から三年間、市内の四十棟の家屋を対象に屋根雪処理の調査をしてきました。屋根雪処理の実態を把握し、合理的な処理方法を見つけだすためです。

現在市内で行われている屋根雪処理方法は、大別して「一、二階建の昔ながらの手落処理家屋」「二、高床二階または三階建の手落処理家屋」「三、自然落下処理家屋」「四、融雪処理家屋」

●自然落下処理家屋●

自然落下はカラットタン（ステンレス）、ビニールシート、テフロン張りの三方法があります。

カラットタン

屋根の積雪を落す方法としては経費もかからず単純な処理方法です。しかし気温が下がったリトタンの滑べりが悪くなると積雪がトタンに凍りつき落下しなくなる場合があります。しかも落下する時に建家に与える衝

対応策として雪割板を設けるのも方法です。また、側雪が普通の家庭よりも多くなり、その処理が大変な作業になり、順調に落下させるには数年に一回ペンキの塗りかえも必要です。

ビニールシート

ビニールシートの自然落下は、冬期間だけ普通の屋根にシートで覆い積雪を落下させようというものです。凍りついて落下しにくくなることもなく経費も安くすみます。しかも、シートで屋根を覆っているため、下の屋根を保護する利点もあります。しかし、ビニールシートが裂けたり、ゆがんだりすると落下しにくくなり毎年修繕の必要があり、シートの取りはずしが大変な作業になります。

テフロン

テフロンはフッ素樹脂とアルミを組み合わせた滑雪材で、温度の変化に影響されず非常に滑りやすく凍りつきにくい材質です。屋根の勾配がそれほど急でなくとも雪の重さで少しずつほぼ直下に落雪し、民家が隣接していても防雪柵を設ける必要もありません。問題は、まだ開発中の段階なので耐用年数がどのくらいあるかということですが、フッ素樹脂そのものは半永久的なものでありかなり期待できると思われます。

ビニールシート (自然落下)



桑原 池田 幸治さん

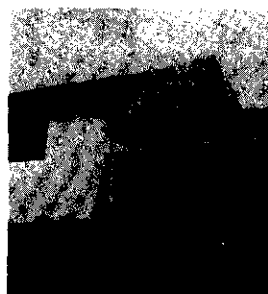
ステンレス屋根 (自然落下)



高山2 金崎 淑子さん

家を建てて十年になりますが、労力を省くためと、宅地が広く隣家に影響を与える心配がないので自然落下式にしました。その後五十三年に約十万円かけ屋根に雪割板を取り付け、今までに屋根の雪おろしは一回もしていません。雪処理に男手は必要なく、屋根雪で心配することはありません。屋根から

かかりますが、今年は、工場だけです。四人もあればできます。屋根に積った雪は凍りつくことなく三、四センチになると落ちます。シートがめくられると落ちにくくなります。屋根は、長尺瓦棒ぶきよりも平ぶきのほうが、しわにならずに滑りやすくて具合がいいようです。



落った雪は、私が、運動をかねて楽しみながら片付けています。でも、屋根の雪がいつ落下してくるかわからないので危険もあります。普通二十センチぐらいで落ちるのですが、寒いと落ちないので五十センチぐらい積った天井をあけてストープで暖めて落しています。



手落処理家屋

一、二階

手落処理家屋

市内の一般的な家屋です。平年でも四五回屋根雪除雪をしなければならず大変な労働力が必要です。また、一階住宅はもちろん二階も雪でうすまり、採光はとれず、日中でも点灯しなければなりません。家屋の雪囲いや取りはずしにも手間や材料費がかかります。経費も馬鹿になりません。

高床二階、

三階手落処理

側雪処理の手間をすこしでも

高床三階建

手落処理



飯訪町 生 越ミサ子さん

仕事の都合で冬も車を使用するので、基礎の部分を手落にするために四十八年にかき上げしました。まわりを雪でおおわれた暗いイメージも、三階建にしたら部屋の彩光もよくなり、明るい冬を送ることが出来ます。雪囲いも住宅の部分はほとんどしていません。雪おろしは、家

融雪処理家屋

地下水

省くために基礎部を高くしたのが高床二階建や三階建の家屋です。この家屋の場合一階を物置や車庫として使用しており、窓や戸がほとんどなくコンクリートが外壁となっているので雪の必要ありません。屋根の雪は、落しっぱなしの状態よく、

地下水による融雪は、設備費も維持費も比較的少なく、効果も十分期待できます。しかし、地下水の資源問題もあり、やみくもに金世帯に推奨できない点

族でしていますが、最初の時には三階建ですから屋根が高くこわくなります。おろした雪はほとんどかまわなくても良いので、融雪処理は経費がかかり、まだ一般的でないように思えます。で現在は、人を雇っても除雪してもう以外考えられません。



しかも住居は二階以上になっているので採光もよく、雪囲に適した構造だといえます。しかし、建築費や税金が割り高になることや、住宅の密集地域では、隣家にあたえる日照権の問題もかかえています。

屋根雪処理は、一・二階立てと同じですが、落雪したあとの処理は随分楽になります。

があります。また、処理方法の問題点としては、屋根面と積雪の間に空洞化が起り、圧雪の必要があり、井戸水を使用するため、トタンが腐食しやすく、四年に一回張り替えている家屋もあります。地下資源の節約を

テフロン

(自然落下)



西寺町 大島敦策さん

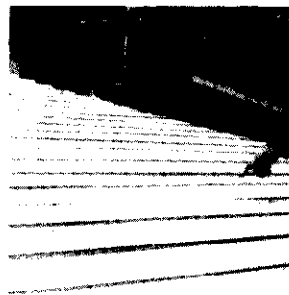
雪の研究者の融雪実験のお手伝いをしてきたのですが、水には限界があるのでそれよりも屋根に雪のすべりやすいものを張ったかどうかと考えつき滑雪材のテフロンを張ったのです。一階が車庫で二階がアパートの屋根に張ったのですが勾配がないのに良く落ちます。落ちた所に

考えた循環式融雪処理は、一度使った冷えた水を暖める装置が必要で、ボイラーの設備費や維持費も馬鹿になりません。

ルーフヒーター

ルーフヒーター(電熱)による融雪処理は、施工工事費や電気代などの維持管理費がかさみ一般家庭には、経済的にかなりの負担になります。特に電気代は基本料金の一月契約約4000円、千二百五十円と、使用料が必要で、融雪処理では、降雪が短時間に多い場合は空洞化現象を起し、十分威力を発揮しなくなります。しかし、雪処理の手間は省け、家屋の破損もなく、高度の処理方法だといえます。

消費パイプを布設してあるので落ちた雪の処理も大丈夫です。今、テフロンは坪あたり七千円ぐらいで張れるようです。湿った雪はすぐ落ちるのですが、かわいた雪は二十センチぐらい積もるので、下を通ると危険なこともあります。新製品ですし寿命はどのくらいあるのでしょうか。



地下水による融雪



昭和町 阿部美千代さん

それまで両隣も私の家も木造家屋で雪を捨てるスペースもあつたのですが、四十六年にそれぞれビルになって雪の捨て場がなくなり施設をしました。井戸やポンプ、配管などで約五十万かかりました。維持費は比較的安いですし、修理もほとんどありません。水を一度に出すと地下水の温度が下がるのか、すこ

雪がパイプを布設してあるので落ちた雪の処理も大丈夫です。今、テフロンは坪あたり七千円ぐらいで張れるようです。湿った雪はすぐ落ちるのですが、かわいた雪は二十センチぐらい積もるので、下を通ると危険なこともあります。新製品ですし寿命はどのくらいあるのでしょうか。

ルーフヒーターによる融雪



四日町新田 太田信一さん

前が道路で、住宅の後ろが工場だったものですから、屋根雪の処理には本当に苦労してきました。それで老後の肉体力労働の不安もあって設備をしたのです。五十年・五十一年の二か年で設備費が約二百万かかりました。今は、維持費がかさみますので融雪と自然落下の併用です。



配電板は家の中に



冬期間二十八KWの契約で、基本料金だけで月に三万五千円もかかりますから大変です。続けようか解約しようか考えているところですが、新しくやる人には、あまり勧められません。それと午後四時から九時の間は電気が止まりますのでこの間に降った雪はとかせないんですよ。

雪の事故をなくそう!!

ロマンチック、ファンタステックなどと形容されてもいる雪は、その反面——白い魔物ともいうことができます。雪国のもつ宿命ともいえる雪についての課題。その雪に関する事故が年々多くなってきた。あつた、再びあつた。雪の事故防止に注意することを、声を大にしよう。

除雪時の事故防止

ロータリーやブルドーザーによる除雪作業は、常に危険がそこにはあります。除雪作業をする人はもちろん一般の人たちも含め、お互いに事故を避けるため次のことに注意しましょう。

★ とにかく、除雪中のブルドーザーやロータリー車などには近づかないこと。

★ 除雪作業をしている人は、常に事故を起こさないよう神経をすりへらして作業をしているということをご理解ください。

★ 特に子供達は機械を恐れなくて除雪車に近づく傾向

下校時にも交通指導を実施



市長 久松 恒久
市立小学校 西井 松

★ ブルドーザーやロータリーなどの重機には、死角がたくさんあります。誘動員や運転手の指示には必ず従うようにしましょう。

冬の交通事故防止運動

本年冬の交通事故防止運動は昭和五十五年十二月十一日から昭和五十六年一月十日までの一カ月間実施されます。

年末年始の飲酒の機会が多くなることによる飲酒運転追放とあわせて降雪、凍結期の事故防止の徹底をはかります。

飲酒運転追放

- 飲酒運転追放は、本人の自覚が第一です。
- 飲酒運転をしない職場環境づくりを徹底すること。
- 家庭の中で交通安全の話し

スリップ事故の防止

- 積雪、凍結道路では速度をひかえよ。
- 「あがり酒」の習慣をなくす。
- 飲酒がともなう会合には車を運転してゆかない。
- 積雪、凍結道路では速度をひかえよ。

わたしたちの学校では、降雪期になると、児童の登校時に父兄の皆さんによる交通指導を実施していますが、今年二月の事故(下校時に発生)以来、二度と痛い事故を起こさないためその対策を検討して来ましたが、

〇危険場所の総点検
〇家庭での生活規則の徹底
〇いつでも、どこでも、誰もがお互いに注意しあうこと。
〇関係機関への指導、協力依頼をする。

以上、二月のPTA臨時

総会の安全決議を踏まえ、具体的な対策の中で「下校時にも交通指導はできないか」ということについて、学校とPTAとが連絡をとりながら、アンケート

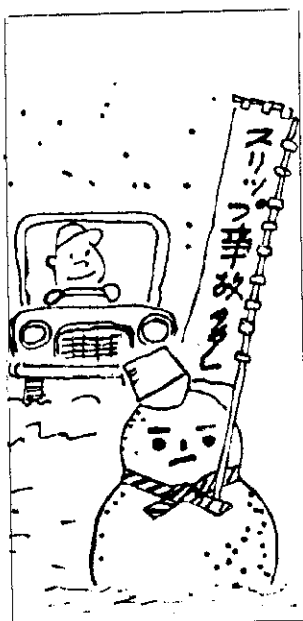
などを実施しましたが、大部分のかたが賛成し、早速その体制を検討しているところでです。

私は、児童たちを、雪の事故から守る方法として、次のようなことを考えています。

◎ 誰もが、どこでも、危険なことと思つた時は、声をかけ、注意する。

◎ 社会人のマナーとして、家の雪おろしあるいは除雪作業は、児童の登下校時をさける。(するときは学校側に必ず連絡してほしい)

このような地域全体で確認してやらなければならない事故未然防止対策があると考えますが、それには、市民みなさんの協力が必要であると思います。



直進する。

- 冬道の追越は、危険。
- 対向車、特に大型車が接近したら減速する。
- 歩行車とのすれ違いは徐行し安全な間隔を。
- 不測の事態に備えて、必ずシートベルトを着用。

流雪溝転落事故防止

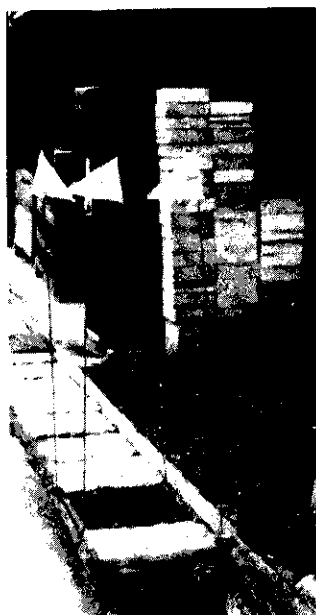
流雪溝や測溝の転落事故は、毎年必ず起きています。死亡事故に至らないものも含めるとその数は非常に多いものになります。

市では、この冬から、流雪溝や測溝で、流雪するため、こう蓋（アマグレイド）を開けてあるところやその他危険と思われるところに、危険防止のための

赤い旗をたてることにしました。

写真左

（この旗は、現在、各地区、町内の交通安全自治会を通じ、それぞれ配布しているところですが）流雪溝転落事故は、危険な所、総点検とあわせて、それぞれの地域が、絶対に事故を起こさないという地域全体の運動が第一条件なのです。



転落事故防止は地域全体で



川治下町2 村山 惣太郎さん

私は数年前に、自宅近くの流雪溝に落ちた小学校二年生の子

どもを救助しました。その前日は、降雪も多く、町内の各家がそれぞれ、それ程大きくない流雪溝にかなり雪を入れて、心配はしていたのですが、その日の朝、ひと通り流雪溝を見ようと下流の方に行ったのです。そして途中、人形のようなものが、浮いたり沈んだりしているんです。最初は子どもとは思わずにいたんですが、どうもおかしいと思い、近づいたのです。ビックリしました。子どもとわかり、助けなければと

雪おろしに必ず注意!!

今年一二月の二カ月間に起きた雪おろしの際の転落事故は市雪害対策室に連絡のあったものだけでも四件あります。それ以外のものをあわせると、相当の件数があるのではないかと思います。

思ったところは、流雪溝の流末、そこで助けなければ、その子は多量の雪の下を流れる川治川の中に落ちてしまったのですから。

その後も流雪溝への転落事故は起きております。非常に残念でありませんが、やはり、地域全体で、危険なところの総点検を何回でもすること、そして転落することがないよう、呼びかけ運動をすることです。

そして、今年は絶対に犠牲者を出してはならないと思います。



火災予防

意してください。

また、路上駐車のため、消防車、救急車が通れないことがあ

寒さがきびしくなるにつれて、ストーブやコタツなど火気を使う機会が多くなります。

万一火災が発生した場合に備えて、雪おろしや道路除雪などに消防水栓や消火栓が埋まることのないよう十分に注意してください。

不注意からの事故



四日町新田第3 桑原 猪松さん

今年の一月十六日、仕事（タクシー運転）の徹夜明けの日に雪おろしをしたのですが、睡眠不足だったのが一番悪かったのだと思います。小屋根だと最初考えていたのですが、予定より早く終わり、それでは小屋根も、というところで、はしごをかけあがったのですが、足につけて

ります。車はきめられたところに駐車し、消防活動に支障がないようお願いいたします。

なだれ防止を

時の安全確保には特段のご配慮

なだれは新雪でも発生します。危険な場所があるときには十分注意し、また必要によりなだれ危険標識を設置していただき、雪庇の排除やう回路の確保など、なだれによる事故防止を図るとともに、児童、生徒の登下校

雪水の排水に注意を

消雪パイプによる消雪路線が伸びるにつれて、車による雪水のはねあげで多くの被害がでます。ドライバーは、歩行者の身になって、スピードを落とし、細心の注意を払った運転をしてください。

をお願いします。なお、なだれ危険標識の破損紛失などの場合には、部落で竹ざお、赤い布などを利用して措置してください。

それが、あれほどの重傷になったことをかみしめて、これからは十分注意しなければと思っています。

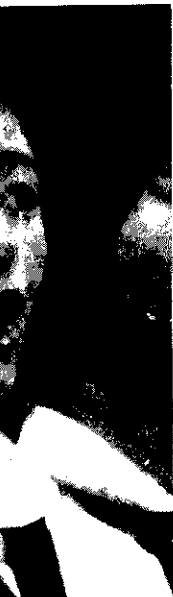
目がさめたのは、病院のベッドの上。三、四日は意識不明になっていました。落ちた時に隣の家のブロックに頭を打ち出血したのですが、脳波の検査も異常なかったのですが、不幸中の幸いだと思いますが、寒くなると他に打ったところが少し痛むようです。（医者は四、五年は後遺症が残るかも知れないと言っています。）入院、通院含めて全治三カ月の重傷だったわけですが、結局、自分のちよとした不注意から起きた事故

生まれた

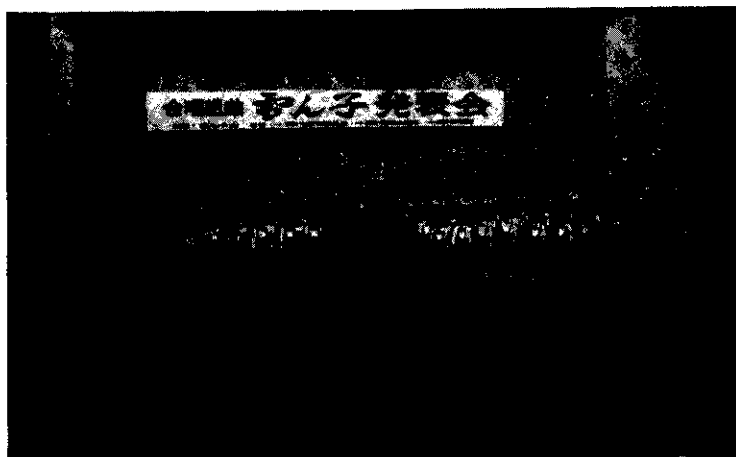
発展をめざして……”

子 発表会が開催されました。

この日は、子どもさんから、お年寄りの
かたまで約六百名の皆さんが、雪国十日
町——その雪の中から新しく生まれ
“ふるさとのうた”の発表に、熱心に耳
を傾けていました。



指揮 吉岡武良男さん
(十日町中学校教諭)



“雪ん子”とは

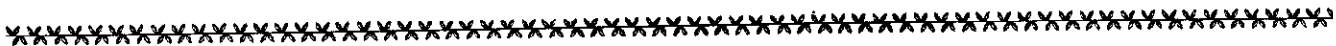
—— こうした省からの情報
を絶やすことはできないという
考えから、昭和四十九年に、十
日町青年会議所、十日町地区婦
人会、十日町ロータリー、ライ
オンズクラブ並びに一般市民の
力がたのこ協力のもとに生ま
れたのが、郷土人形、雪ん子
です。

それ以来、今日までの八年間、約一万三千個の雪ん子を製作し、郷土の代表的な民芸品として、十日町を訪ずれる人たちに、雪国の情緒を紹介して来ましたが、そのような中で、今度は、雪ん子が生まれました。雪國という地域に生まれた新しい文化。

どなたにでも作れる
ものです。気軽な
気持ちで製作に参加
してみてください。
問い合わせは、商
工会議所（☎7-5111
番）南雲久夫さんま
で。

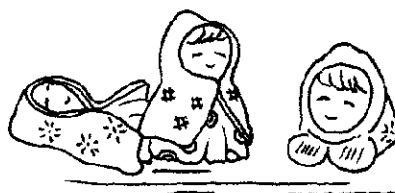
書の中から生まれた蘭文字の発展をめざして、蘭人子のうたがけのつままで、もながく、市民の皆さんの中での歌い継がれてゆくことを願っています。



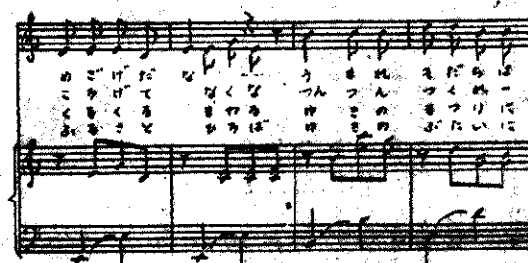
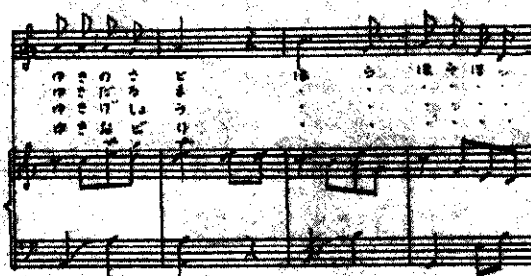
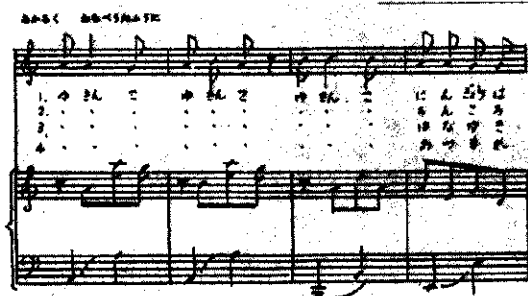


前列左から
関口愛吉さん・田村居雪さん・白岩俊夫さん
(作曲者) (作詞者) (作曲者)

司会 佐藤敦子さん



第三章 雪ん子

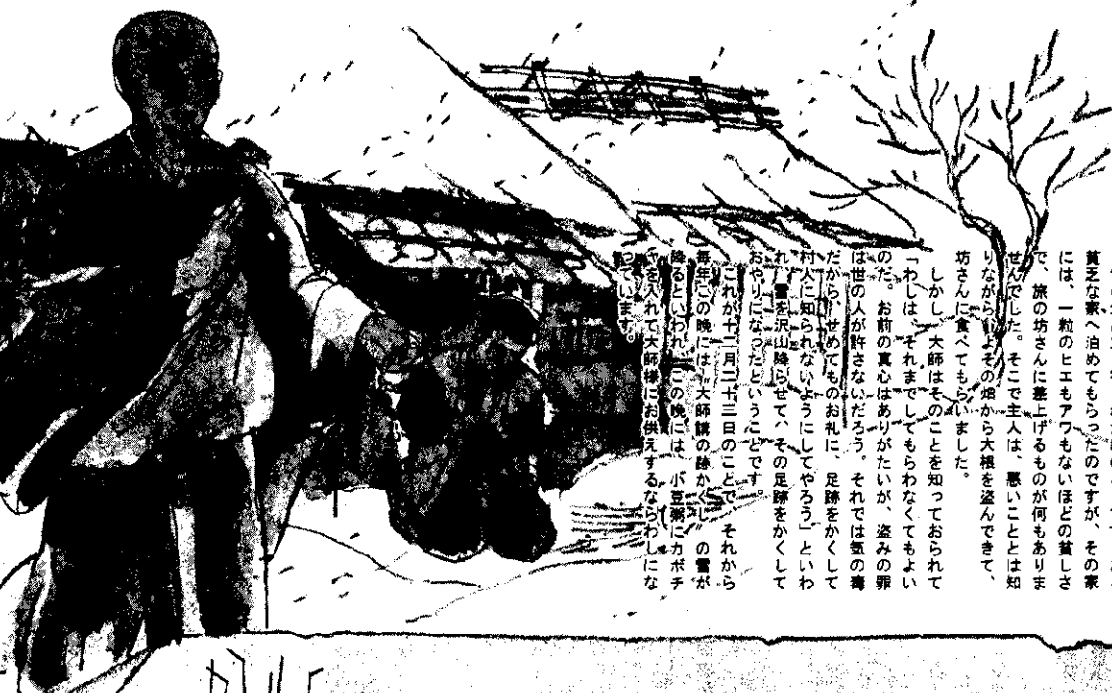


大師講の跡かくし

川治

諸国をまわっておられた弘法大師が「つまり、の地に立ち寄られた時のことです。ある貧乏な家へ泊めてもらったのですが、その家には、一粒のヒエもアツもないほどの貧しさで、旅の坊さんに差し上げるものが何もありませんでした。そこで主人は、悪いこととは知りながら、その畑から大根を盗んできて、坊さんに食べてもらいました。

しかし、大師はそのことを知っておられて「わしは、それまででも知らなくてよいのだ。お前の真心はありがたいが、盗みの罪は世の人が許さないだろう。それでは僕の毒だから許さないだろう。それで足跡をかくして村人に知られないようにしてやろう」といわれ、雪を山崎にせて、その足跡をかくしておやりになったということです。



カマ神さまの年取り

中条

ペロペロ神は、専い神で、親でも子でも、へそこいた方へ向きやがれ。ペロペロ神というのは、カマ神さまのことです。

カマ神さまは、大変貧乏なうえに、女の手ばかり大人もいたので、ほかの神さまが、大晦日に年取りをしたのに、カマ神さまだけは、年取りのごちそうがなくて、年を越すことができなかったのです。ところが、三日の夕方になって、やっと米が少々手に入ったので、早速アツをまげてごちそうを作ってやっと年取りをすませました。

正月三日に、農家では、掘り飯六個を作ってペロ三本（先の曲ったもの）、真直の棒三本を作って掘り飯の上に立て、カマ神様にお供えします。



茶塚の松

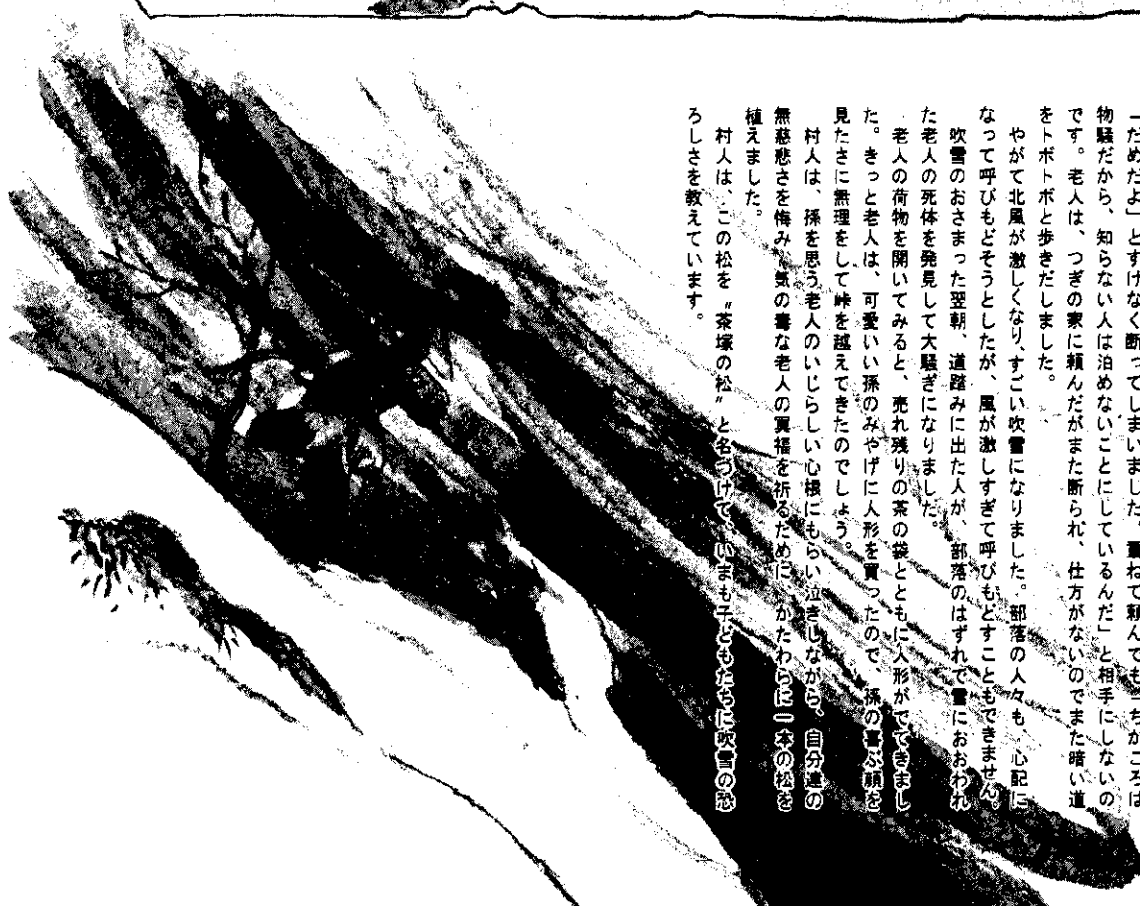
川治

雪のふりしきる夕刻、八箇峠をこえて落ノ水へやってきた旅人がありました。空腹と寒さで弱り果てていた老人は、落ノ水の部落にはいると、今夜はここで泊めてもらおうと思いい軒の家の戸をたたきました。「おぼんです。わたしは十日町へ帰るのだが、この雪で困っています。どうか一晩泊めてください」と頼みました。しかし、いかにもみすぼらしい老人の様子を見て「だめだよ」とすげなく断ってしまいました。重ねて頼んでも、ちかごろは物騒だから、知らない人は泊めないことにしているんだ」と相手にしないのです。老人は、つぎの家に頼んだがまた断られ、仕方ないのでまた暗い道をトボトボと歩きだしました。

やがて北風が激しくなり、すごい吹雪になりました。部落の人々も、心配になって呼びもどそうとしたが、風が激しすぎて呼びもどすこともできません。吹雪のおさまった翌朝、道端みに出た人が、部落のはずれで雪におおわれた老人の死体を発見して大騒ぎになりました。老人の荷物を開いてみると、売れ残りの茶の袋とともに入形がでてきました。きつと老人は、可愛い孫のみやげに人形を買ったので、孫の墓を頼り見たさに無理をして峠を越えてきたのでしよう。

村人は、孫を思う老人のいじらしい心機にもういさしなから、自分達の無慈悲さを悔み、焚の毒な老人の冥福を祈るために、かたわらに一本の松を植えました。

村人は、この松を「茶塚の松」と名づけて、いまも子どもたちに吹雪の恐ろしさを教えています。



「冬」来たりて……

冬期保安要員を配置

市では、山間地で冬期孤立状態になる二十一集落を対象に三十人の冬期集落保安要員を委嘱しました。(昨年は二十三集落三十人。)

保安要員の皆さんは、十二月から三月までの四カ月間、主要道路の圧雪等による交通確保、生活保護世帯などの屋根雪除雪、救急患者の輸送など地域住民の安全と生活環境維持向上のため活躍します。

設置集落と保安要員の氏名は次のとおりです。

(津池) 小林辰五郎 (菅沼) 庭野重男 (大池) 高橋九平 (赤倉) 庭野信一

市では、山間地で冬期孤立状態になる二十一集落を対象に三十人の冬期集落保安要員を委嘱しました。(昨年は二十三集落三十人。)

保安要員の皆さんは、十二月から三月までの四カ月間、主要道路の圧雪等による交通確保、生活保護世帯などの屋根雪除雪、救急患者の輸送など地域住民の安全と生活環境維持向上のため活躍します。

設置集落と保安要員の氏名は次のとおりです。

(津池) 小林辰五郎 (菅沼) 庭野重男 (大池) 高橋九平 (赤倉) 庭野信一

冬期分校を開設

今年も冬季分校が十二月一日から開校されました。(水沢小学校冬季南雲分校十一月十七日開校)

児童数が一番多いところは、野中小学校大石分校で十四名、反対に少ないところは、飛渡第一小学校上田原冬季分校、水沢小学校南雲冬季分校、名ヶ山小学校中平冬季分校のそれぞれ二名となっています。

市内の山間地での主要道路の無雪化対策が着々と進むなかにも、冬の閉ざされた一定の期間を、本校で仲良くなった仲間たちと離れ、少ない人数で学校生活を送る子どもたちがいます。

今年、開設された冬季分校の数は十二校、児童数は七十名、うち一年生十七名、二年生十九名、三年生十三名、四年生四名、五年生七名、六年生十名となっています。

水沢小学校冬季南雲分校は、十一月十七日に他の分校より早く開校しましたが、先生と子どもたちに「分校の話」を聞いてみました。



〔先生〕
飯塚茂夫さん(三十歳)

私はこの分校に愛着は持っています。しかし、子どもたちのことを考えた時、やはり自然の姿にしてほしいとも考えています。

現在、この南雲部落が、かか

〔子どもたち〕

佐藤 隆さん(六年生)

直美さん(三年生)

人数は三人でも、毎日を楽しく勉強しています。特に、冬はスキー授業が楽しいです。ただ友達に会えないことが、ちょっと

えている問題、例えば、道路の無雪化、出稼ぎ、そしてこの冬季分校の問題などは、それぞれ個々に考えるのではなく、山間地の生活環境を整備するという全体的な中で、住民も行政もお互いに協力し、知恵を出し合いながら考えて行かなければならないものだと思います。

とさびしい気がします。

お兄さん

わたしは、図工をしているときがいちばんたのしいです。本校のぎょうじに出るのも、たのしみのひとつになっています。

妹さん

お父さんは出稼ぎに行っており、正月帰って来るのを心待ちにしている二人です。

県道当間、土市(丁)線の野中線となったため、飯塚沢地区は、今年から孤立集落から解消されましたが、これまで部落の保安要員をして来られたかたに話を聞きました。

冬期保安要員の

仕事から離れて



飯塚沢 中村 忍さん

飯塚沢は現在、戸数十七、人口は約八十数名の部落ですが、今年、県道が整備されて、野中までの約二キロを除雪してくれ、という事で、非常に喜んでいてるひとりで、以前なら、朝の四時半に起きて、子どもたちが学校に行く前までに、耕転機にキヤビラをつけた圧雪機で、その二キロの道を圧雪していたんで、それは雲泥の差がありますよ。またその機械は、そんなに早く圧雪できるものでもないし、まあ、少ない日でも三回、多く雪の降る日は一日に七、八回位は往復したでしょうか。そんな圧雪も今年からは、し

なくても良いんで、気は安まる気がします。

しかし、雪国、特に山間地での保安は、道路確保だけでなくなだれ防止のための雪庇落としなど大きな問題もたくさんあるが、幸いにも、この部落は、最近、道路の無雪化のせい、町にも近くなり、出稼ぎに行く人もだんだん少なくなっており、部落全体として対処できる体制も昔よりは良くなっています。

しかし、孤立集落としてこの部落が解消され、保安要員がいなくなるのが、本当に良いことだとは思えないと思うこともあります。

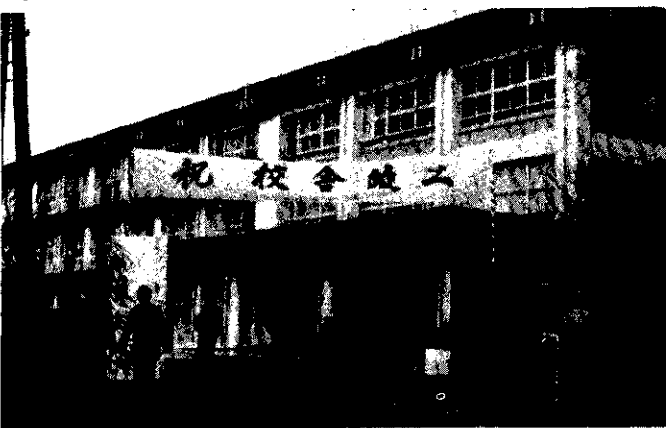
できた…念願の新校舎

十日町中学校竣工

昨年の六月着工以来、二カ年継続事業で実施してきた十日町中学校（早川治夫校長）の校舎がこのほど完成し、六日、喜びの竣工式が行われました。

校舎は、普通教室十八のほかに、図書室、音楽室、被服室、調理室、視聴覚室、理科室などの特別教室を備え、延面積は五千四百八十九平方メートルです。工事費は、本体工事、電気、設備、校庭整備費などを含めて約六億四千五百万円の巨費が投入されました。

竣工式で、諸里市長は「教育こそ十日町市発展の礎であるから、おもねりや無関心、軽率な妥協を排して、この新しく美しい校舎に負けないような、たくましく正義観に燃えた素直らしい若者を育てて欲しい」と式辞を述べ、生徒代表の二瓶則夫君が「入れ物だけが良くなって中味がどうも」と言われないように、今まで以上に心新たに、気持ちを引きしめ、勉強にスポーツに、生徒会活動の発展に努力します」と決意を語っていました。



ふれあいと語らいの場

「農業青年たちのつどい」から



市の農業委員会では、市内に住む農業青年の皆さんに「知らない人達とめぐりあう機会をつ

くる」ことを目的に助成事業を計画し、今年八月にはキャンプを実施しました。そこに参加した四十八名の青年は、その後、グループあるいは個人同志の交流がなされ、それがもうひとつの輪を広げ、新しい場を求める型となって来たようです。

今回のパーティは、彼等白らが企画そして運営をしたものです。この日、十一月二十一日、会場に集まった青年男女六十名。「ふれあいと語らいの場」というテーマのもとに、人数もひとまわり増えていました。勿論、

人が多ければ大成功という結論を出すのではなく、すばらしい企画・運営が彼等自身の手でなされたことが大事なことと思います。ゲーム・ダンス・キャンドルサービスなど、予定時間が過ぎても続けられていました。

農業委員会では、今年だけでなく、来年以降も、青年たちの活動を、昨年実施したアンケート結果（今年の市報三月号に掲載してあります。）をもとに、このような計画を設けていく予定でいますので、ご協力をお願いします。

お米を見直そう

シリーズ
No22

栄養士の会

（十日町支部）

活動から

〔1〕

新潟県栄養士会十日町支部（田村シズ子会長）は、病院・学校・保健所・保育所・各事業所の栄養士三十名で組織していますが、この会は、昭和五十一年から五年計画で「朝食を食べる運動」を実施し、また、昨年から「お米を食べる運動」などを実施しています。

「朝食をたべる運動」

「健康美は朝食から」というテーマで、集会（講演会）や、展示会などを行って来ました。この運動キャンペーンの一部を紹介します。

★幼児期のポイント

- 食べる環境を作ろう
- おやつとの与え方に注意
- 食事は強制しない
- 食事は家族とともに

★思春期のポイント

- たん白質をたっぷりとりましょう
- カルシウムを多めに

- ビタミン類も幅広く
- 女子は鉄分が不足しないように

★朝食をおいしく食べるために

- 夜食はやめましょう
- 三十分早く起きる
- 早く起きておいしい朝食メニューを
- 健康をつくる朝食—その朝食をぬくど
- いらいらする
- スタミナがなくなる
- 考えがまとまらない
- 目がかれる
- 体がなんとなくだるい

このように朝食を食べる運動は私たちの生活の中で重要な比重をもつわけですが、もうひとつの運動——「お米を食べる運動」は次回にお知らせします。

新生児児童委員を委嘱

地域福祉のよき相談相手として活躍していただいている民生児童委員が、任期満了となり一斉に改選されました。十二月一日付で厚生大臣から委嘱された民生児童委員の氏名、担当地区はつきのとおりです。生活や医療、家庭内の事などで心配ごとをお持ちのかたは、気軽にご相談ください。相談の秘密は必ず守られます。

十日町地区

本田雅子、佐伯幸子、島田久蔵、井口拓三、服部ナミエ、後藤唯夫、樋口由紀子、根津佐太郎、酒井梅子、根津富、平野喜穂、庭野シゲ、出口セツ子、西野幸雄、中林フミ、庭野宏平、高橋好一郎、大嶋仁作、庭野一義。

中条地区

太田栄策、池田リン、高橋ハヤ子、和田悦、中林秀一郎、和田正市、池田徹男、大津久、野上武衛、大津文夫、当重益郎。

下条地区

生越正信、村山嘉一、村山栄一、藤田つね子、小林昌平、田村實、水落政治。

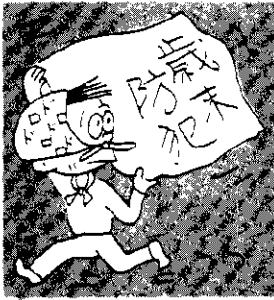
吉田地区

齋木辰三、林一雄、川崎重昭、柳ワカ、保坂利隆、佐野好平、尾身六郎治、桑原一郎。

川治地区

玉村万作、竹内義雄、長津シン、岡村芳雄、高橋清次郎、樋口トミ、滝沢三知子、高橋はるゑ、田川正三、服部寅治、齋木

年末年始の防犯運動を



- ◆少年の非行防止
- ◆暴力団犯罪の取締り
- ◆交通死亡事故の抑止
- ◆雑踏事故の防止
- ◆強盗事件や侵入盗の予防

浩平。

六箇地区

南雲親栄吉、福崎健太郎、徳永重光、桑原計利。

水沢地区

高野長一郎、山口一義、上村順平、武田ツネ子、金沢千枝、村山リン、宮沢幹夫、保坂三明、飯塚孫太郎、熊木隆、村山行作、井口三郎。

し尿浄化槽設置者研修会を開催

現在、市内には約千五百基のし尿浄化槽が設置されています。浄化槽自体、機能的に高度の処理を期待するのは難しく、公共用水域に十分な水が流れていないと、排出される浄化槽放流水が二次汚染をおこし、悪臭が発生しやすい状態になります。まして、浄化槽の維持管理が適正になされていなければならぬおそれがあります。

今回の研修会は、五十五年度にし尿浄化槽を設置された人を対象に行います。対象者は、案内書（後程お届けします）と五十五年度第二回放流水検査結果通知書を持参してください。期日 十二月十八日（木）会場 市役所大会議室（三階）時間 午後一時～三時研修内容 ①し尿浄化槽の法的規制について ②し尿浄化槽の

土地・建物競売入札公告

市では、次の土地及び建物を競売します。
売却物件 所在地：十日町市大字小泉五〇九番地一
土地（宅地）：三四五・四一㎡
建物：木造重箱二階建
延一七六・八二㎡

入札資格者 五十五年十二月一日現在、市内に住所のある人。
物件下見 各自で熟覧のこと。
入札日時 十二月二十三日 午後一時半
入札場所 市役所大会議室
入札保証金 各自見積額の百分の五以上
詳細問い合わせは、財政課管財係（六七―三二―一 番内線二三九）。

その時、し尿が
シリーズ No. 21
上水道通水式
昭和32年12月5日



工事中の第1号井戸

このころ、ある市会議員の中から、信濃川伏流水の取水案が浮かびあがった。それは、昔から信濃川本流と支流五十間堤防の間に清水が湧き出している箇所があり、中山堤防即ち信濃川本堤が築堤され、また十日町橋が百十計短縮された後も、依然として清水は自噴していた。

この日の感激を思い出し、当時の事業に参画されて今は既に故人となられた数人の方々に衷心より感謝の意を表します。
〔後記〕特に十日町市の初代市長中山龍次先生が、水源は清津川の清流を引水することを発案され、当時としては勿論不可能であったが、今日の水不足の時代の中にあって、その偉大な計画性に今更ながら、頭の下がる思いと、実現されなかったことが悔まれてなりません。

（栄町 岩田正吾）

ことばを正しく育てるために 「ことばの教室」へ……

十日町小学校「ことばの教室」では、どうも話し方がおかしい、発音が変だ、と思われる子供たちのための治療教育を行っています。言語の支障は、ほぼ百パーセント矯正できます。治らなくても、本人が黙っているかぎり他人にはわからない性質のものですが、本人の性格に与える影響を考えると早めに治療したいものです。

「ことばの教室」は、学校の勉強になるべく差しつかえないように、個人別に時間割を組み

○脳性マヒのためにことばの不自由な子
申込み方法
困っている点、名前、年齢、保護者名、住所、電話番号を添えて申込んでください。(電話申込み可)

申込み先・問い合わせ
十日町小学校「ことばの教室」
(千九四八 十日町市学校町一丁目 七七八八八六番)へ。

年賀状に郵便番号を 12月15日受付開始

今年も年賀状のプランをたてる季節になりました。

なり、現在予約受付中です。
この冊子は、百三十ページに及び、四季おりおりの郷土料理百五十数種類の作り方が掲載されています。

購入希望者は、公民館本館(七五〇一一番)または各地区館に申込んでください。



公民館本館の 図書室ご紹介 川治地区 ⑥

を中心に活動をすすめています。
民謡講座は南中学校と分館で書きつけ講座は城之古、北新田の二カ所で行っています。

民謡教室、鉢菊、いけ花、文芸講座、母親学校があり毎月二回の学習をしています。

―八箇分館―
●分館長 服部 寅治
●主事 村山 広栄

長年八箇小学校に併設されていた八箇分館は、十月一日から

川治地区には、城之古、高山、関浅、八箇の四つの分館があります。

―城之古分館―

●分館長 高橋 秀雄

●主事 小林 徳左エ門

城之古分館は城之古と北新田の二部落からなっており、世帯数、人口が急増している地域です。特に北新田の世帯数が多い。一、一分館として事業が持たず二カ所で継続的な講座、教室

活動をしています。
民謡教室が月二回、料理教室、民謡教室、そして今年度から始めた婦人学級では家庭教育を中心に月一回の学習をしています。運動会、文化祭、盆踊り大会等地域ぐるみの活動も行われています。

「わらばし通信のつどい」では、寿司作りの講習や冬の健康について実習と話し合いが熱心に行われました。



―高山分館―



●分館長 岡村 清栄
●主事 小野塚 キュ子

高山公共会館に併設されている大所帯の分館です。

継続的な事業では、いけ花講座、着付け教室とこれから教養講座で般若心経について学習をすすめるよう準備をしています。

地域一体となつての運動会、文化祭、野球大会、音楽大会と幅広く活動をしています。

―関浅分館―
●分館長 湯川 正夫
●主事 岡村 喜市

建物が老朽化し今年集落開発センターとして改築され、去る十一月十五日に竣工式を行いました。今年度は改築のため夏場は事業が出来ませんので、十一月の竣工後に事業を計画しています。

民謡教室、料理教室、いけ花書きつけと木の香の新しい分館で関根、浅之平の人達が学習に励んでいます。

新潟県史 ただいま予約受付中

新潟県「立
県百年」の記
念事業として、
かねて編さん
を進めてきた
「新潟県史」
は昨年に続い
て、昭和五十
六年三月末に
四巻が刊行と
なります。

このたび刊
行予定の四冊

は、未公開の
史料を多数紹介しており、新潟
県の歴史を知る上での貴重な資
料集です。

この機会に多くの方のみなさんの
購読をお勧めします。

今回刊行巻の内容

●原始古代二 文獻編

三、六〇〇円

●近世一 上越編

四、五〇〇円

●近世二 中越編

四、五〇〇円

●近世四 佐渡編

四、八〇〇円

申込み先

県総務部県史編さん室(〒九

五一 新潟市学校町通一番町

(☎〇二五二二二二五五一

番)。

申込み方法

はがきに、住所、氏名、購入

巻名、冊数、公用、私用の別、

電話番号などを記し、申込んで

ください。

なお、昨年度刊行した、つぎ

の二冊も在庫がありますので希

望者は早めに申込んでください。

●近世下越編 四、六〇〇円

●明治維新編 四、八〇〇円

(いずれも送料別)

金子幸造議員急逝



金子幸造議員が、十一月二十
五日急性心筋梗塞のため急逝さ
れました。氏は、昭和七年生ま
れで、多年建築業界の発展や、
母子福祉を中心とする社会福祉
の向上にも尽力され、衆望をに

なつて昭和四十二年五月市議会
議員に初当選し、以来四十六年、
五十四年と再選を果たされまし
た。在職中は、予算、決算の特
別委員長を始め、総務文教常任
委員長、議会運営委員長などの
要職を歴任し、その誠実な人格
と若さは今後の活躍が期待され
ていただけに、任半ばの急逝が
惜しまれます。

ここに、生前のご活躍をし
び、ご冥福をお祈りします。

気軽にできる 家庭料理⑨

～七福なます～

正月料理に頭を悩ます時期になりました。そこで、いか
にも神を招きそうな「七福なます」をご紹介します。

■作り方

(1)大根は5cm長さの千切り、し
いたけはうす切り、れんこんは
大きさによって半月か銀杏のう
す切りとし、酢水につけてアク
抜きする。(酢水は水3カップ
酢大さじ1)

(2)人参は花型で抜き、ごうす
切りとして塩をふり、しんなりし
たら水洗いし塩をおとしておく。
白たきは茹でてアク抜きし、
5cm長さに切る。

(3)白ごまは炒って包丁で荒切り
出し昆布ははさみで細く切り、
袖子の皮は千切りとする。

(4)甘酢を作って味みしておく。

(5)底の平らな鍋で人参を除いた
全部の材料を強火で炒める。(備
ぎれがあり、大根臭さがとれた
らよい。)

(6)熱いうちに全部の材料を混ぜ
甘酢につけ込み、十分冷やして
供す。

■材料と分量(4人前)

材 料	分 量
大 根	150g
れんこん	100g
しいたけ	中2枚
人 参	30g
白 花	1/2ヶ
白ごま	大さじ1
出し昆布	5cm
袖子の皮	少々
(甘酢)	
酢	大さじ3～3.5
砂糖	2.5
塩	小さじ1
しょう油	1
炒め油	大さじ1.5

—コッ—

●強火で短時間に料理す
る。弱火だと水っぽく備
ぎれが悪くなる。
●時間をおくと、味が馴
染んでおいしくなる。

(駅通り 酒井 藥)

区 分	免 税 点
料理店・小料理店・バーなど	なし
宿泊(一泊二食の宿泊料金が免税点を超えた場合)	一人一泊につき 四、〇〇〇円
旅行(一泊二食の宿泊料金が免税点を超えた場合)	一人一泊につき 四、〇〇〇円
旅社・日帰り者の休憩及び飲食	一人一回につき 一、〇〇〇円
飲食店・喫茶店など	一人一回につき 一、〇〇〇円
経理区分食堂(デパートの食堂など)	一人一回につき 一、〇〇〇円
仕出し・出前	一人前 一、〇〇〇円

忘年会、新年会などで、料理
店、飲食店、旅館等を利用する
機会が多くなると思います。
その場合、十割の料理飲食等
消費税がかかり、お店では税金
を受けとった上、公給領
収証を渡すことになっていきます。
これは、皆さんが料金といっ
免税点はつぎのとおりです。

しよに料理飲食等消費税を納め
たしるすから、必ず受けと
るようにならねよう。
なお、一定金額(免税点)以
下の飲食や宿泊には税金がか
りませんので公給領収証は発行
しません。ただし、旅館や飲食
店などで遊興(芸者など婦女の
接待を伴う行為)を伴う飲食を
行った場合は、免税点の適用は
ありません。



納税証明書交付手数料が
十二月一日から二百円に

傳電のお知らせ

取扱いは従来どおりです。
また、収入証紙は財務事務所
では取り扱っていませんので、
銀行で購入してください。

▼十二月十六日(火) 午前九時
半～午後一時半まで 中条八幡
中町、中条旭町の各一部、上町、
旭ヶ丘、上原 ▼十二月十七日
(水) 午前九時～午後一時まで
四日町第一～第四の各一部 ▼
十二月十七日(水) 正午～午後四
時まで 中条島、中町、中条旭
町の各一部、太子堂、尾崎、塚
田

おとがまち



○いよいよ雪のシーズンです。
一雪が降っても雪のない時と格
差のない生活をしたいという
願いも、交通確保と屋根雪の合
理的な処理がなされれば、その
大部分が解決されます。
今月号は、その雪をテーマに
考えてみました。広報協力員の
鈴木蘭、樋口信二、庭野泰明の
皆さんにご協力いただいて。

ダミー人形を寄贈

十日町ロータリークラブ(会長大島
敬策)では、交通安全教材として、ダ
ミー人形一式(衝突実験用20万円相当)
を市に寄贈しました。
市では、今後その愛称を募集し、園
児、児童を対象の交通安全教室に活用
できると感謝しています。
寄附ありがとうございます
▶榊会十日町支部 10,330円 ▶星
名ミサ(八幡田町) 1,100円 ▶内藤
直雄(松本) 1,000円 ▶三輪新一(高
田町1) 10万円…香典返し